

つなぎFARMは、 未来への種まきだ――

「地元でとれたものはおいしい――」。
よく言われますが、それだったら
何でもいい訳ではありません。

どんな人が、どんな思いで、
どんな方法で作っているのか。
見た目は同じ米、野菜、果物でも
その農産物が生まれてきた背景で
全く違ったものになるのでは
ないでしょうか。

農業の未来は農家だけではなく、
私たち一人ひとりが
考えていかなければいけません。
自然栽培や有機栽培を知ってもらい、
買って応援することが、
この栽培の農家を育て、
消費する人々にも優しい農業を
育むことにもつながります。

つなぎFARMの取り組みに終わりは
ありません。志ある農家がつながり、
これからも安全でおいしい津奈木産の
農産物を次世代の子どもたちへ、
恵みをつないでいきます。

【特集】恵みを、つなぐ。(完)――



【つなぎ百貨堂】

安心でおいしい恵みを大切な人に。 それは、農家も売る人も一緒。

つなぎ百貨堂は、地域の農産物や水産加工品・地酒など、この地域ならではの特産品を取りそろえ、生産者と共に販売に取り組む物産館です。所長の松本修平さんに販売に対するこだわりを聞きました。

安全・安心な食を 未来につなぎたい

無肥料・無農薬の自然栽培を含む有機農産物は栽培が難しいため、市場にほとんど出回っていないのが現状です。実際に国の統計でも農産物総生産量に占める有機野菜の割合は全体の0.3～0.5%に過ぎません。これまでの農産物の流通では、物流費を抑えるためより多くの商品を一度に輸送し、売り場に出すことが最優先されてきました。そのためには農産物の形や大きさを揃える必要がありますが、肥料や農薬に頼らない農法では自然に近い形で農産物が育つため、

規格に合わせることは難しかったのです。消費者側にも形が大きく見た目の良い農産物が良いとされる価値観が定着したことや、自然栽培や有機栽培には手間暇がかかり、どうしても割高になることも原因となっています。

環境に配慮した 地域農業を応援

つなぎ百貨堂では、できるだけ化学肥料や農薬に頼らない農産物の販売を強化しています。地元で採れた農産物は生産者を身近に感じ、その人が作ったものは消費者にとって安心をもたらします。そして、地域の農業への愛着や理解も深まり、買う



つなぎ百貨堂 所長
松本 修平 さん



心を込めて育てた農産物のおいしさを損なわないよう、従業員が果実の着色具合や傷の有無などを目視で一つひとつ丁寧に確認。

ことで地域の農業を応援してもらうことにもつながります。

私たちは必ず生産現場に足を運び、販売する商品を直接確認しています。それは、現場の声を知らないとお客さんに魅力を伝えられないから。おいしい時期や栄養価の高い旬を逃さないように、農家とのコミュニケーションを大切にしています。

愛情込めて育てた農産物だけでなく、作り手の思いも一緒に届けることが私たちの役目。農家と一体になって、津奈木の良さを少しでも多くのお客さんに知ってもらえるよう、つなぎFARMの魅力を発信し続けていきたいです。